

教科イチ押し見学会 2024 東京都写真美術館



[昨年度の教科イチ押し見学会](#)で企画をしてくれた76期OGの井上和さんが武蔵野美術大学に進学し、ご学友の方3名と一緒に今年の教科イチ押し見学会の企画もしてくれました。大学生たちが選んでくれた展覧会が、[東京都写真美術館](#)の「[アレック・ソス 部屋についての部屋](#)」です。

今回の教科イチ押し見学会は、美術館のスタッフの方とも、現役美大生ともお話しできる、贅沢な機会となりました。

アレック・ソス《Irineu's Library, Giurgiu, Romania》〈I Know How Furiously Your Heart is Beating〉より2018の前で。

企画

武蔵野美術大学

クリエイティブイノベーション学科1年生

井上和さん、大嶋花糸さん、比嘉辰大さん、
櫻井陸人さん



当日のながれ

- 1.「色と形と言葉のゲーム」
- 2.展示室にて対話型鑑賞
展覧会 アレック・ソス 部屋についての部屋
- 3.スタジオで感想の共有
- 4.(希望者)展覧会 現在地のまなざし 日本の新進作家 vol.21 自由鑑賞

【「色と形と言葉のゲーム」】

今回はいきなり展示室に行かずに、最初にスタジオをお借りしてアイスブレイクを行いました。大学生と相談し、自分の考えを述べるのは難しいので言葉にする練習を最初にしたということになり、美術館にご相談したところ、スクールプログラムとして実施されている「色と形と言葉のゲーム」をご紹介します。



4-5人のグループに分かれて、ゲームスタート。
いろいろな色と形のカードが机に並びました。

初めは「げんき」「ドキドキする」などの言葉が書かれたカードを見て、それに合う色と形のカードはどれか、各自が心のなかで決めた後、一斉に指差すゲームでした。もちろん正解はありません。美術館スタッフの方が一人ずつ、「どのようなところが元気だと思いましたか」などとお聞きになり、生徒たちはそれぞれの思いを述べます。



次は逆に言葉が書かれたカードが机に並び、色と形のカードを見てそれに合う言葉を各自が選びました。

いずれのゲームも、ほかの生徒の話を聞くと自分が持つイメージが広がっていきます。

本校の生徒が身につける力の1つである「共感力」(感情に左右されず、他者の立場や考えから影響を受けながら、自分の意見を改善する力)につながる力が、ここでも身につけられたのではないのでしょうか。

さらに、美術館スタッフのみなさまが生徒たちの発言を引き出してくださり、お互いに認め合う雰囲気の中で安心して発言できるようになったようです(こちらは「発信力」ですね)。

また、大学生が各グループに入ってくれることで、1年生が持っていない視点や語彙にも触れられたと思います。

【展示室にて対話型鑑賞 展覧会 アレック・ソス 部屋についての部屋】



アレック・ソス《Stephen Shore, New York City》2019
の前で。

いよいよ展示室へ。

2グループに分かれ、美術館スタッフの方による対話型鑑賞を体験しました。

片方のグループは冒頭の本がたくさん写っている写真の前で、もう片方のグループは「おじさんと緑茶のペットボトル」が写っている写真の前で、じっくり話しました。

「おじさんとペットボトル」の写真の前では、「自分だったらこういうおじさんは写真に撮らない」という生徒の発言にみんなうなずくなどして盛りあがっていました。

そこから美術館スタッフの方が「なぜそう思いますか」「では作者はなぜ撮ったのでしょうか」と、生徒たちの想像が広がるように語りかけてくださいます。

20分ほどじっくり1枚の写真について語り合った後は各自で自由鑑賞。

大学生の準備したワークシートを埋めながら、数人で語りながら、あるいは1人で静かに見入っていました。



《La Cuisine d'Azzedine Alaïa, Carla Sozzani & Azzedine Alaïa》
〈Paris / Minnesota〉より 2007 の前で。

【スタジオで感想の共有】

再びスタジオに戻り、各自が事前に撮影した写真について、大学生とグループで語り合いました。



そして最後に、各グループで話したことを、1名が代表して全体の前で共有しました。



■生徒のワークシートより

・たくさん1つの写真から想像でき、さらには他の人はどう思っているのかこの日たくさんの人と共有でき、楽しかったです。

・小さい頃はまだ作品のどこが良いか言語化できませんでしたが、成長し、中学1年生となった今、様々な意見をきき、より自分の考えを確立することができたのでとても良い経験をしたな、と感じています。

・（各自が）撮った写真について話し合うのもいろいろお話しできて楽しかったです。

＊ ＊ 過去12回の様子 ＊ ＊

2007年度 教科イチオシ見学会①森美術館

2008年度 今日のお客様&教科イチ押し 22 森美術館

2009年度 春期講習・教科イチ押し森美術館

2010年度 気になる声シリーズ⑥教科イチオシ見学会【森美術館】

2011年度 17 教科イチ押し見学会(森美術館)

2012年度 本を出版しました。15 教科イチ押し見学会(森美術館)

2014年度 中 1 国語科特別講座・森美術館

2014年度 教科イチ押し見学会(森美術館)

2018年度 ⑭教科イチ押し【森美術館】

2020年度 ⑩教科イチ押し見学会【森美術館】

2022年度 生成AI・デジハリ見学・関連書籍

2023年度 春の訪れ・寺田倉庫見学会